Southern Cross

The Japanese School in Perth
パース日本人学校

２０２６　No.6　　９月７日発行
Web-site　www.japaneseschool.wa.edu.au
e-mail:　toiwase@jsp.wa.edu.au

子どもたちは、頑張っています！

校長　　伊東　俊昭

２学期も残すところ３週間となりました。あっという間に時が過ぎ去っていくように感じられます。そのような中、児童・生徒たちは、日頃の学習や様々な取組に仲間と協力し合いながら活動する姿を見せてくれました。

９月１日に行われたジャンプアンドスローでは、自分の記録を少しでも伸ばそうと頑張る子どもたちの姿、そして、互いに声を掛け合い応援し合う姿は、本当に素晴らしかったです。

また、９月４日に行われたフィールドアスレチックでは、これまで練習してきた成果をしっかりと発揮しながら競技や表現運動に取り組む姿が見られました。City Beach Primary School の児童と一緒に練習に励んできましたが、本番でも英語でコミュニケーションをとりながら仲間として、時にはライバルとして協力し合ったり、競い合ったりしながら一生懸命に取り組む姿が随所に見られました。特に、全員がゴール目指して歯を食いしばりながら最後まで走りきる姿に感動しました。一人一人の成長が確認できた素晴らしい大会だった思います。

このような行事では、本番の成果も大事ではありますが、その過程において様々な経験を重ねることで、仲間と思いや考えを伝え合いながら協働できる力や粘り強く諦めずに最後まで努力できる力を育むことで、優しさやたくましさを獲得していくことも本校教育の大きな目的であります。

今年も、児童・生徒一人一人が、大きな成長を見せてくれた取組となったと信じております。そこには、本校職員の日々の指導･支援のみならず、保護者の皆様方のご理解とご協力があってこその結果であります。児童・生徒の健康管理はもとより、日頃からの声かけなどご家庭でのご指導･ご支援、いわゆる家庭教育によるところが大きいと思います。ありがとうございます。

フィールドアスレチックが終わり、これから学期末に向けて学習のまとめに入ってまいります。引き続き本校教育に対しましてご理解･ご協力をお願いいたします。

なお、登下校の対応につきましても引き続きご配意のほどよろしくお願いいたします。

画像の掲載は控えさせていただいております。　画像の掲載は控えさせていただいております。　画像の掲載は控えさせていただいております。

大玉転がし　　玉入れ　　綱引き

画像の掲載は控えさせていただいております。

8月11日に三枝さんが、来校してディジュリィデユを演奏してくださいました。

8月12日には、本校で学んだことがあるオリンピアンのニコラス ティミングスさんが来校してくださいました。お二人とも、自分の体験を元に夢や目標を持つこと、諦めずに努力をすることの大切さなどについて話をしてくださいました。感謝です。

画像の掲載は控えさせていただいております。

画像の掲載は控えさせていただいております。

ブックウイーク

今年もCity Beach Primary Schoolと合同で「Book Week」が行われました。8月26日はフリードレスデーで、児童・生徒と先生方も本の中の主人公の姿で登場しました。様々な主人公が登場していました。特に、本校の子どもたちと先生方が、主人公になりきって舞台に登場する姿を見て、会場は大いに盛り上がりました。この取組をきっかけとして、読書をする機会が増えることが期待されます。

画像の掲載は控えさせていただいております。

いただきました！

2年生が、自分たちで収穫したキャベツとトマト、ブロッコリーで作った野菜サラダとお味噌汁を校長室に持ってきてくれました。
とても美味しかったです。
素晴らしい授業の取組です!

画像の掲載は控えさせていただいております。

画像の掲載は控えさせていただいております。

ジャンプ&スロー

9月1日（火）にジャンプ&スローがありました。児童・生徒は、自分の記録を少しでも伸ばそうと幅跳びとボルテックス・スローに集中して挑戦していました。
みんなよく頑張りました！

画像の掲載は控えさせていただいております。

画像の掲載は控えさせていただいております。

南中ソーラン

9月４日（金）に児童・生徒は、フィールドアスレチックに臨みましたが、City Beach Primary Schoolの有志の子どもたちと一緒に熱心に練習を重ねていました。英語でコミュニケーションをとりながら、身振り手振りでコツを教えたり、声を掛け合ったり、友情が深まったと思います。日本文化について体を動かしながら伝承し相互理解を深めることができる機会となっていたと感じます。今後もあらゆる機会を通じて国際理解教育を進めます。

画像の掲載は控えさせていただいております。